



## 夏の病気：プール熱・ヘルパンギーナについて

### 【プール熱とは】

「咽頭結膜熱」と言われ、プールを介して感染しやすいため「プール熱」と呼ばれています。飛沫・接触によって感染します。

原因は「アデノウイルス」です。アデノウイルスは1年中みられるウイルスですが、プール熱は6月頃から始まりプール利用の増える7～8月頃にピークを迎えます。症状は咽頭炎・結膜炎・発熱ですが、リンパの腫れや倦怠感、下痢や腹痛を起こすこともあります。潜伏期間は5～7日です。発症すると1週間～10日程症状が続きますが、自然に治ることがほとんどです。

### 【ヘルパンギーナとは】

夏かぜの一種です。潜伏期間は2～4日です。発症すると喉の奥に小さな水ぶくれができ、38～40℃の熱が2～3日続きます。ひどい時は水分も飲めなくなり、脱水に要注意です。また、ヘルパンギーナと同じ菌で発症する疾患に手足口病があります。手や足、口にも水ぶくれが出現したら、手足口病を疑い受診しましょう。